



伊勢志摩国立公園指定70周年記念紙

春の号 **10** 最終号

企画・編集・発行：(有)伊勢文化舎  
協力：伊勢志摩国立公園協会  
公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構  
発行部数：8万部  
〒516-0008 三重県伊勢市船江2丁目22-25  
TEL: 0596-23-5166 FAX: 0596-23-5241  
Mail: otayori@isebito.com  
URL: <http://www.isebito.com/>

# ぱるく伊勢志摩

## 「伊勢志摩国立公園と さくら展」開催！

会期：3/18(土)～4/2(日)

場所：おかげ横丁  
大黒ホール  
(詳しくは 8P)

語り伝えよう

円吉ざくらの夢

特集 2→6……語り伝えよう 円吉ざくらの夢

シリーズ 7……里の祭りを訪ねる⑤ 「境内の祭りを見てみたい」

8……ぐるり伊勢志摩 見よう・歩こう・楽しもう おすすめ情報

●70周年記念事務局だより/伊勢志摩からの便り

よしとか  
鳥羽城跡に咲く“嘉隆桜”。

タイトル字：伊藤潤(書家) 撮影：阪本博文

**春**、桜色に染まる伊勢志摩。

国立公園指定70周年を迎えたこの春も、各地からの花だよりが心待ちな季節となりました。

初代の国立公園協会長・石原円吉が願いを託した「円吉ざくら」も伊勢志摩のあちこちで開花の時を待っています。

終戦の翌年、奇しくも誕生した「伊

勢志摩国立公園」は、国立公園としては民有地率が高く、全国で一位。それゆえに高度経済成長期を過ぎてなお、乱開発の危機にさらされてきました。

それを危惧した石原円吉会長が、国立公園の自然保護と美化を願って、各地へ贈りつづけたのが、後に「円吉ざくら」の名で呼ばれる桜の若い苗木です。

子どもたちが集う小中学校の校庭に、暮らしを支える農協・漁協に、神社・仏閣の参道や園地に…と、毎年 800～1000 株の苗木を届け、没するまでの15年間に私財で贈った苗木は9000本を越えたといいます。

時は移り、「円吉ざくら」の幾らかは台風や、道路工事などで姿を消しました。

しかし、伊勢志摩ではその志を継ぐかのように、あちらこちらで桜を植樹する気運が芽生え、花の名所は広がりをみせています。

「ぱるく伊勢志摩」最終号では、全域に咲き匂う桜花を訪ね、伊勢志摩国立公園の新たなスタートを祝すとともに、円吉翁への感謝と報告にしたいと思います。



「伊勢志摩を第一級の国立公園に！」  
国立公園の父・石原円吉の想いが、この春も伊勢志摩をサクラ色に染めていきます。  
伊勢・鳥羽・志摩・南伊勢、  
花見の旅へ、いざ！

語り  
伝えよう

円吉ざくら

写真＝阪本博文・溝口照正・鈴木和宏・山根稔生

## 伊勢の桜を訪ねる

取材・文＝  
中村元美・福所淳子



桜並木が迎える神宮徴古館では、「倭姫文化の森」の中に散策道も整備され、しっとりと花見ができる。(伊勢市神田久志本町)

### 五十鈴川沿いに 五感で楽しむ桜の宴 【宇治エリア】

内宮神域から流れる五十鈴川河畔を、ソメイヨシノやシダレザクラが彩ります。ほとりには屋台が並び、花見弁当も旬満載。対岸にもつづく桜を愛でながら散策していると、にぎやかな太鼓の音が響いてきます。また、夜桜はライトアップで水面に映え、心にしみる美しさです。

昔の人は、春に桜を咲かせる山の神を花見の宴で喜ばせ、豊作をお祈りしたとか。「五十鈴川桜まつり」は、そんないわれを受け継いでいます。



内宮の宇治橋周辺ではソメイヨシノが誇らしげに咲き、子安神宮周辺はいち早く名物桜「衣通神姫」などが彩りを見せる。

朝熊山(555m)山頂付近を彩るソメイヨシノ。山の緑にピンク色が映える。桜が終わるとツツジが満開に。(伊勢市朝熊町)

### 世々受け継がれて—— 銘木や桜並木 【山田エリア】

外宮のすぐ東側、国史跡の旧豊宮崎文庫にある「オヤネザクラ(お屋根桜)」は伊勢市の天然記念物。1度は訪れて見たい由緒ある桜です。北御門口へ廻ると、NTT横に大きなソメイヨシノが並び咲き、さらに神路通を別宮の月夜見宮へ向かうと、鳥居前一帯を桜の天蓋が被います。宮川の度会橋付近まで足をのばせば、昔、「桜の渡し」と呼ばれた宮川橋辺りまで約1kmの堤に、“一目千本”の華やかな桜並木が続きます。



神路通の民家や公園の桜を眺めながら月夜見宮へ。神域の森には山桜も。(伊勢市宮後1丁目)



外宮北御門のすぐ前に咲く枝張りの良い老樹は風格があり、足を止める参拝者も多い。(伊勢市一志町)



旧豊宮崎文庫のオヤネザクラは山桜の新種。花は白く清楚で、黄色を帯びた若葉が花と同時に出る。由来は2説あり、外宮正殿の屋根に生えた桜を移したとも。(伊勢市岡本3丁目)  
一般公開：3/25(土)、26(日)、4/1(土)、2(日)9時～17時  
※3/25、4/1は10～12時まで随時係員の解説あり



4月上旬  
五十鈴川桜まつり  
宮川春まつり  
朝熊山春まつり



「さくら名所百選」の眺め。宮川堤では、昔から堤防修復に伴い、古木保存と若木移植が続けられてきた。(伊勢市宮川)



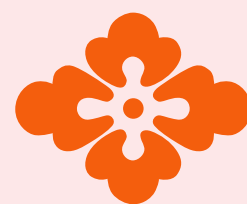
「五十鈴川桜まつり」(4月上旬予定)では、屋台で花見料理が楽しめる。ライトアップで水面を彩る夜桜も見事。(五十鈴川堤)

●桜まつりの情報の詳細はP8に掲載しています。天候により状況が変動しますので、観光協会等にご確認のうえお出かけください。

明治13年(1880)、明治天皇の御聖断を仰ぎ、伊勢神宮の遥拝所として建てられたのが「東京皇大神宮遥拝殿」、いまの東京大神宮です。皇室の御祖神である天照大御神をまつり、国民の総氏神と仰がれる伊勢神宮(内宮)の御神徳を皇都東京にあまねく宣布し、都民の心のよりどころになるようにとの願いから創建され、130年余の歳月が流れました。「東京のお伊勢さま」として親しまれている東京大神宮は、いまも伊勢神宮と都民の心を結んでおります。



東京のお伊勢さま



東京大神宮

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-4-1  
電話 (03) 3262-3566 FAX (03) 3261-4147  
http://www.tokyodaijingu.or.jp/  
JR総武線・地下鉄東西線・有楽町線・南北線・大江戸線  
「飯田橋駅」徒歩5分



# の夢



花卉の数が多く、花の直径は5～6センチもある。



## 伊勢の山里では—— 濃い大輪の横輪桜【番外編・横輪町】

横輪桜は、町内の桂林寺に150年程前にあったものを、村人が各家に持ち帰り増やしたとされる珍しい品種です。おしべが変化して花びらになる特徴があり、

八重桜のような濃いピンク色の太輪が見事。横輪川沿いや山の斜面などに約1500本植えられ、今や地域のシンボルに。開花は少し遅め4月上旬。(伊勢市横輪町)

## 山一面に春を装う桜は 清き渚を借景に「三見エリア」



生活環境林でもある音無山は植生豊かで、四季折々にアジサイやツバキなどが彩りを添える。海に面した北側だけでなく、南斜面にもソメイヨシノが咲き誇る。(伊勢市二見町江)



4月上旬  
横輪桜まつり  
二見浦さくらまつり

池の浦の桜(海の蝶「さくらの郷」)。寒緋桜、ソメイヨシノ、楊貴妃など20品種以上の桜が咲き競い、3～4月と2カ月にわたって花見が楽しめる。(伊勢市二見町松下)

「伊勢の国冬桜の会」が市民と一緒に毎年100本の冬桜を植樹した朝熊山麓公園。2011年に千本達成。開花は10～11月頃と、長い間楽しませてくれる。(伊勢市朝熊町・サンアリーナ周辺)

標高約120メートルの音無山で桜の蕾がほころびはじめると、海沿いの町・二見浦は春色に包まれ、国道からも旅館街からも見渡せます。遊歩道が整備されているの

で、山頂や眺めのいい東屋を周回でき、桜の花びらの合間から、旅館街の町並みと清き渚の浜辺を見下ろせます。遠見してもよし、散策してもよしの桜山です。

## インタビュー 石原義剛さんが語る——

# 父・円吉、国立公園、海の博物館

「円吉ざくら」の石原氏の長男、石原義剛さんは、ふるさとの海を慈しみ、国立公園を想うDNAを父親からしかと受け継いでいる。海女漁や豊かな海を守るべく、「海の博物館」から発信を続けて47年目——。

鳥羽の市街地からパールロードへ車で20分ほど、緑地に瀟洒な展示棟を配した「海の博物館」があります。

館長の石原義剛さん(78)は、伊勢志摩国立公園協会の初代会長・石原円吉氏の子息。果して、「円吉ざくら」のことを覚えておられるだろうか——。

「もう、50年近く経ちますが、父親の桜苗木を送る手伝いをやった覚えはあります。宛名書きや、苗を配りに行ったり。」正月休みに帰郷した折のことという。

毎年1000本近い桜苗木の送り先が几帳面に記録しており、15年間続くうちに、9481本になっていたといいます。明治、大正、昭和と激動の時代を生きた円吉氏の花物語です。



石原円吉(1877-1973)  
明治10年、志摩町和具(現志摩市)生まれ。水産業振興、伊勢志摩国立公園指定に尽力した。95歳で昭和48年没。

円吉氏は志摩の生まれで、実家の網元を継ぐ一方、水産業界を背負う政治家の道へと進みました。衆議院議員時代には海的环境汚染から漁業を守るため「水産資源保護法」の成立に獅子奮迅の働きをしたことでも知られる熱血漢です。

一方では、地元の漁業振興のためにも海の文化を広く知ってもらおうと(財)東海水産科学協会を設立し、博物館の構想を温めてもいたのです。

子息の義剛さんが、東京から三重へ呼び戻されたのが32歳のとき。「海の博物館」を開く準備にとりかかるためでした。

「漁村資料の収集には思いのほか手間がかかり、開館に漕ぎ着けたのは帰郷して3年後の12月7日。初代館長となる親父の誕生日にどうにか間にあわせ

たのです」。

やがて、義剛館長の代になると、重要文化財の多い資料収蔵庫は満杯となって、平成4年、鳥羽の海辺から郊外へ新築移転。約1万8000平方メートルの広々とした敷地に展示棟・収蔵庫など計6棟で構成され、カフェもある雰囲気の良いミュージアムです。

年間を通して体験講座やイベントで、子どもたちをはじめ全ての世代へ「海」を発信する一方、機関誌「SOS(Save Our Sea)」を通じて反原発の啓蒙活動もする、まさに活火山のエネルギーを秘めた博物館でもあります。全国でも数少ない海と暮らすの国立公園・伊勢志摩にとって、かけがえない存在なのは、言うまでもありません。

「昨今、国立公園の方向性が取り沙汰されていますが、全国にある33カ所それぞれが地域の特性を発揮してこそ訪れる方も楽しみがあるというものでしょう」と石原さん。

古来、「美し国」と称えられた伊勢志摩。円吉ざくらの思いを語り継ぎ、その名にふさわしい国立公園をめざしたいものです。(取材・文＝乾 淳子)



**海の博物館**  
開 9時～16時30分(3/21以降は17時まで)  
料 大人800円、高・中・小学生400円  
休 なし(6/26～30、12/26～30は休館)  
〒 鳥羽市浦村町大吉1731-68  
☎ 0599-32-6006



伊勢名物

# 赤福

本店 〒516-0025 伊勢市宇治中之切町26番地  
電話 0596-22-2154(代) ファックス 0120-081381  
<http://www.akafuku.co.jp/>

# あたまたの宮さん



頭之守護神 戸 知恵の大神  
こうべのみやようじんじゃ  
**頭之宮四方神社**  
☎ 0598-72-2316 [www.koubenomiya.or.jp](http://www.koubenomiya.or.jp) facebook 頭之体操

〒519-3111 三重県度会郡大紀町大内山3314-2





鳥羽城跡の城山公園には古来の石垣が残り、山桜などの古木が趣を添える。一方で国道側は近年、整備された公園で若いソメイヨシノが競い咲く。(鳥羽市鳥羽3丁目)

# 鳥羽の桜を訪ねる

取材・文＝鼻谷年雄

4/2 (日)  
しろやま  
嘉隆まつり  
九鬼水軍楽市  
同時開催



平成8年の国立公園50周年記念事業で市内に約400本植えられた苗桜の一部が市民の森公園で育つ。(鳥羽市大明東町)

## お城、神社、庭園で 彩り豊かな花景色 【鳥羽市街エリア】

鳥羽は歴史ある港町ならではの景勝に恵まれています。高台から鳥羽湾を一望する鳥羽城跡城山公園には元鳥羽城主・九鬼嘉隆にちなみ、市民から命名された“嘉隆桜”の他、ソメイヨシノ約50本が咲き競い、4月最初の週末には恒例の九鬼水軍をたたえる「しろやま嘉隆まつり」でにぎわいます。城跡よりさらに高い樋の山にある讃岐金刀比羅宮鳥羽分社は、車で参拝できる行楽地。ミキモト真珠島の庭園ではソメイヨシノのピンクに松の緑が映えて、手入れされた空間ならではの美を味わえます(入場料大人1500円)。



ミキモト真珠島の桜は約20本。サトザクラ1本は昭和60年にスウェーデンのシルビア王妃が植えられた。(鳥羽市鳥羽1丁目)



山上の讃岐金刀比羅宮鳥羽分社には「円吉ざくら」を含めて数十本の桜が咲き匂う。鳥居前にはシダレザクラも。(鳥羽市鳥羽2丁目)



定期船を降りて東へ歩いていく道すがら、山桜が咲く森の上にぽつんと現れる灯台。(鳥羽市菅島町)



海に面した緑の山肌に淡い山桜が点々と…。定期船の窓からも花見が楽しめる。(鳥羽市菅島町)



答志島の花見所である桃取中学校跡地付近を捉えた空からの写真。(鳥羽市桃取町)

## 島民にとっておきの 穴場を見つけよう 【離島エリア】

かつて校庭に「円吉ざくら」が植樹された答志島の桃取中学校は廃合されましたが、跡地を開放し、いまは住民のお花見スポットに。毎年3月末～4月初めに提灯が下がり、夜桜を楽しむこともできます。また、同島の東西をつなぐ全長約6kmの県道のスカイラインは、満開になると「花のトンネル」と評判。

神島では集落の坂を上り詰めた保育所付近の古木が、新入園児たちを花で迎えます。灯明山を回り込む小中学校の通学路では、少し遅れて八重桜が咲きそろう。

## 私の旅行スタイル、ふるさと納税。

鳥羽市ふるさと納税

検索

鳥羽に旅行するなら「感謝優待券」が絶対お得！  
寄附金額50,000円の場合、  
25,000円分の感謝優待券をお贈りします。



鳥羽の旅の情報は  
http://www.toba.gr.jp

鳥羽市観光協会

〒517-0022 鳥羽市大明東町1-7  
TEL 0599-25-3019 FAX 0599-25-6358

鳥羽温泉郷の旅  
美味温泉礼賛

今、浦村ガキが、何！  
家族として、夫婦で、  
友達としてお越し下さい。

鳥羽温泉郷  
Toba Onsen-go

鳥羽市温泉振興会 鳥羽温泉郷 検索  
TEL: 0599-25-3019 FAX: 0599-25-6358  
http://www.toba-onsen.com



創造の森横山では、色鮮やかな濃い桃色の河津桜、陽光桜（左）に続いて、ソメイヨシノ（下）が満開に。陽光桜（3月中旬～4月上旬）、ソメイヨシノ・山桜（3月下旬～4月上旬）と約1か月にわたり桜が楽しめる。（志摩市阿児町）



創造の森横山のシダレザクラ（上）は4月上旬～中旬が見ごろ。「阿児はなの会」「横山桜会」両会代表の前田敏道さん（76）（右）は元阿児町長・森本隆治さんからの志をついで横山周辺の桜を世話し続けている。



## 寺社や名所を彩る 地元ゆかりの桜

【磯部・志摩エリア】

志摩市内には、数百本と続くような桜並木こそありませんが、古くから地元の人たちに愛される桜の名所がたくさんあります。天の岩戸近くにある「大島桜」は市指定の天然記念物。近鉄沿線では「五知の桜」「川辺の桜」が旅人の目を楽しませます。国道260号で南下すれば、春を告げる大慈寺の「てんれい桜（河津桜）」、和具観音堂の境内に咲く桜の老木、爪切不動尊の“桜天井”など、しっかりと風情ある花見を楽しむことができます。



近鉄志摩磯部駅の北側、磯部川の河口近く「川辺の堤」の桜。水面に桜が映り込む風景が美しい。



近鉄五知駅近くの国道沿いに並ぶ見事な桜の老木は、旅人の目を楽しませる。（志摩市磯部町）



2月中旬、大慈寺では先代和尚ゆかりの「てんれい桜（河津桜）」が春の訪れを告げる。（志摩市大王町）



爪切不動尊のソメイヨシノは、谷に生えており、樹高が高く数輪上に花をつける。（志摩市志摩町）



3/18(土)～4/9(日)  
横山さくらまつり  
3月末～4月上旬の日曜  
天の岩戸で茶屋開き

# 志摩の桜を訪ねる

取材・文＝中川絵美子

## 英虞湾の絶景と 桜の森を楽しむ 【横山エリア】

英虞湾の北、ゆるやかに起伏する「横山」には、展望台、公園などが整備され、志摩の自然にふれる絶好のスポット。中腹にある「創造の森横山」は、市内で随一の桜の名所です。平成15年から植樹と整備が行われ、現在園内の桜は約3千本。陽光桜、ソメイヨシノ、山桜、シダレザクラ…とさまざまな種類の桜が咲き競います。

すぐ近くの「横山展望台」では英虞湾の絶景を眺めながらお花見が楽しめます。



横山展望台に咲くソメイヨシノ。リアスの穏やかな英虞湾を眺めながら花見を楽しめる。



阿児ふるさと公園は市民憩いのお花見スポット。（志摩市阿児町）

天の岩戸へ続く道沿い、「家建の茶屋跡」にある樹齢350年以上の「大島桜」。若葉を伴って白い花が咲くのが特徴。開花時期の日曜には、恵利原区住民によって、天の岩戸の名水で淹れた抹茶と地区伝説の早餅つきで、つきたて餅のもてなしがある。（志摩市磯部町）

伊勢内宮前  
二まき  
TEL 0596.224.175  
FAX 0596.242.510

参宮客をもてなす  
名物ステーキ牛丼をどうぞ  
外宮さんと内宮さん、二つのお宮が  
永久に光輝く地で商いをさせていただく縁より  
「二光堂」と名づけました。

http://www.nikodo.co.jp/

春のお伊勢参り  
4月上旬桜の咲く頃  
五十鈴川桜まつり開催

伊勢内宮前  
おかげ横丁  
総合案内 電話 0596(23)8838  
TEL 0596-8558 三重県伊勢市宇治中之切町52  
http://www.okageyokochi.co.jp/



# 南伊勢 の桜を訪ねる



## 紺碧の 五ヶ所湾を縁取り 色さまざまに咲く 【南勢エリア】

春は“花街道”となる国道260号に沿う南伊勢町。ゆるりとドライブしながら沿道の名所に立ち寄り、小休止がてら花を楽しむのがおすすめです。南勢エリアでは、遠洋漁業の基地、宿田曾の旧小学校の庭に石原円吉ゆかりの「円吉ざくら」が今もけなげに花を咲かせます。泉地区の清流沿いに咲く御衣黄桜は、珍しい淡い黄緑色の八重の花。礫浦の五ヶ所湾をぐるりと見渡せる南海展望公園も桜色に染まります。



旧宿田曾小学校の校庭に、国立公園の父・石原円吉が植えた「円吉ざくら」が今も花をつける。  
(南伊勢町田曾浦)



新野見坂峠の沿道に桜。周囲の山肌にも山桜が点々と。(南伊勢町道方)



国道260号は桜のトンネルがつづく。  
(南伊勢町小方竈)



河村瑞賢公園の周辺一帯とすぐ近くの東宮川両岸では早咲きの河津桜があでやか。(南伊勢町東宮)



清流・泉川に沿って咲く御衣黄桜。咲き始めは緑色だが次第にピンクに。愛好会が接ぎ木で増やしている。4月中旬前後から一週間ぐらいが見頃。(南伊勢町泉)



泉川下流にはソメイヨシノの並木も。



南海展望台の一帯も桜・桜・桜…。(南伊勢町礫浦)



伊勢方面からのサニーロード沿い、桜並木がつづく。



4月8日(土)  
河内さくら祭  
(河内わかき公園)

## 河村瑞賢公園の 早咲き河津桜がみごと！ 【南島エリア】



神前湾へ流れ込む河内川の両岸にみごとな桜並木。(南伊勢町河内)

他に先駆けて満開となるのが、河村瑞賢公園に咲く河津桜です。50本ほどの濃いピンクの花が、毎年2月中旬ごろ、一足早く春の訪れを告げてくれます。リアス海岸のつづく南島エリアは、入江に映える桜の美しさもひととき。「日本の橋百選」の親子大橋・中ノ磯展望台から、あるいは鶴倉半島の高台にある4つの展望台から、海辺の桜を遠望するのもおすすめです。

## 『伊勢志摩定住自立圏共生学』 教育プログラムによる人材育成に取り組んでいます。

皇學館大学では、「地(知)の拠点整備事業」において、三重県伊勢市をはじめ「伊勢志摩定住自立圏」を形成する3市5町と連携し、「アクティブ・シチズンの育成」のための教育プログラム開発に取り組んでいます。

地(知)の拠点

平成26年度採択 「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」

KOGAKKAN UNIVERSITY

未来へつなぐ日本のこころ

皇學館大学

企画部地域連携推進室

〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704

Tel.0596-22-8635

COC事業担当

皇學館 COC

検索

COCサイト(PC)▶

機種によっては読み取れない場合があります。



伊勢おはらい町  
豆腐庵山中

伊勢市宇治中之切町95番地  
電話0596-23-5558 定休日/木曜



うの花どーなつ  
豆乳とおからを練り込んだ  
ヘルシードーナツです。

うの花どーなつ  
100円

「和妙」にきたえ  
水の良さを最大限  
ひきたせるよう  
作りあげた豆腐です。



海の祭り、山の祭り…。  
伊勢志摩の祭りは素朴で、底抜けに明るい。  
祭りをライフワークとする阪本氏が  
隠れた里の祭りを写真と文で語りかけます。  
写真と文／阪本博文

# 里の祭りを訪ねる

伝統と習俗の楽園を訪ねて

## profile

さかもと・はくぶん  
1952年（昭和27）伊勢市生まれ。フリーカメラマンとして87年独立。89年から雑誌「伊勢志摩」に参画。県内各地の祭りをライフワークとして撮る。式年遷宮をはじめ伊勢神宮の祭祀の記録も担当。作品集『祭国視集 晴れやかな持続へ』（月兎舎刊）などがある。



＜鉾形祭＞豊作祈願の春の大祭。神事後、境内に敷いた藁を田に見立て、木の枝で作った鉾を使う田起こしから畔塗りなど、田植えまで10余の所作が演じられる。中でも馬の面をかぶって行う馬入れや嫁役のオカメが笑いを誘う。

サバカッサレ（鳥羽市桃取町）  
／  
風呂敷護摩（伊勢市二見町江）

鉾形祭（鳥羽市岩倉町）



＜サバカッサレ＞追立祭とも言われ、十文字に組んだ笹の葉を釜で沸かしたお湯に浸し、宮司は全力で参列者にお湯を振りかけて無病息災を願う。笹は魔除けに持ち帰り神棚や玄関に飾る。



＜風呂敷護摩＞藤の名所で知られるお寺の境内では、大数珠を回しながらの百巻経の後、白い風呂敷の上で護摩焚きをする。その灰を包んだ風呂敷で体に擦るようにあてたり叩いたりすると、病氣や痛みが治るといわれている。

シリーズ  
5

## 境内の祭りを見てみたい

春の訪れと共に、各地の社寺の境内では  
幟がはためき、祭り囃子が聞こえてきます。  
ちよっと、足をのばして祭り見物に出かけませんか。

祭りが行われる場所というのは街中、海や川や山、田畑、社寺など様々ですが、中でも身近なのは神社やお寺の境内でしょう。祭りに向かう人々のにぎわいにわくわくするものです。

近頃の住人減少の影響で、祭りの撮影に行く際、到着するまで祭事があるのかどうか分からない地域もあつたりします。それでも伝統はちゃんと継承され、世話役の人たちも真剣に取り組んで、普段は静かな境内もちょっとしたステージに様変わりしています。

春から初夏にかけて豊漁豊作、無病息災、子どもの成育祈願などの祭りが多く、心も塞ぎがちだった寒い季節から解放されて、どこかのどこかで陽気な空気が見物人にも伝わってきて、まさに人の身心にも四季の巡りがあるようにこちらまで元気してくれます。祭りはポジティブで新たな息吹を実感する好機会なのかもしれません。

自分の町だけでなく各地の社寺でも「春の例祭」とか「大祭」の幟や案内を見かけるので、ちょっと隣の町などに足を伸ばしてみたいものです。過去に訪れたことのある祭りに今年も行ってみて変わらない姿をみた時など、「平和」を強く感じたりします。

## 祭りのメモ

鉾形祭 4月第1日曜 例年11:00～  
☑ 鳥羽市岩倉町 九鬼岩倉神社  
☒ 近鉄加茂駅下車徒歩10分  
☎ 鳥羽市観光協会 ☎ 0599-25-3019

サバカッサレ 5月の第2土曜 例年9:00～  
☑ 鳥羽市桃取町 八幡神社  
☒ 鳥羽マリンターミナル（佐田浜）から市営定期船桃取行き12分  
☎ 島の旅社 ☎ 0599-37-3339

風呂敷護摩 4月29日（土・祝）例年14:00頃～  
☑ 伊勢市二見町江 大江寺  
☒ 近鉄宇治山田駅からキャンパス二見・鳥羽行き「夫婦岩東口」下車徒歩7分  
☎ 大江寺 ☎ 0596-43-2283

＊祭りは日程等変更となる場合もありますので、お出かけの際は事前にご確認ください。



岩戸屋



お多福とともに  
岩戸屋は今も昔も  
内宮前

伊勢・内宮前おはらい町 TEL0596・23・3188



いざ開幕！平成29年4月21日（金）～5月14日（日）  
日本最大級のお菓子の祭典！



お伊勢さん  
菓子博 2017

27th National Confectionary Exposition in Mie

会場：三重県営サンアリーナ及びその周辺（伊勢市）

菓子博だけじゃない“おいしい”前売入場券好評発売中！

お伊勢さん菓子博2017の入場券を提示していただくと三重県内の指定施設・店舗で様々な特典やサービスが受けられます。

お伊勢さん菓子博 2017 検索





